

connect

[コネクト]

第9号

令和6年1月

お伝えします。

医療の“いま”、病院の“いま”を



2024年に向けて



公益社団法人昭和会 理事長 今給黎 和幸

いまきいれ総合病院 院長 濱崎 秀一

診療支援部門、医療安全管理部門、患者支援部門、看護部、事務部門

● [NEWS] キラメキテラス連携の会 / 地域社会に貢献

● [TOPICS] 黎和塾2023 ～ムーンショット2024～ ほか

つながる医療 つながる生命



公益社団法人昭和会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL

いまきいれ総合病院

いまきいれ総合病院 2024年に向けて



理事長
今給黎 和幸

2023年は「アフターコロナとレジリエンス」というスローガンのもと、業務改善に取り組んでもらいました。まずコロナ禍前の通常診療に戻すことと、これから複雑で拡大する医療ニーズに応えるべく新体制の構築でした。その一環として新年度早々に入退院支援センターの移転拡充を図りました。急性期病院では更なる在院日数の短縮を求められ、一層の退院支援の充実と後方支援施設の確保が必要となります。将来はかかりつけ医との連携強化と共にベッドコントロール機能を有したコマンドセンター機能の整備まで予定しています。

また、病院機能評価受審も大きなトピックスでした。アフターコロナの中でも最大イベントでしたが無事認定に至り、協力いただいた職員の方々には感謝しかありません。引き続き次期更新に向けて質の向上に努めていただきたいと思います。

連携強化に関しては、移転後初めての連携の会を玉昌会と共同で開催しました。会では医療関係者だけでなく、キラメキテラス構想の共同事業体である南国殖産からの参加もあり、来賓としては地域住民代表の町内会長や地域コミュニティ協議会の関係者にも参加いただきました。なぜなら地域の活性化が我々の事業活動発展には不可欠であり、地域共生社会の構築には全産業あげて関わる必要があるからです。それは「30年後の贈り物」と謳ったようにキラメキテラス構想でも提唱しており、ヒューマンライフラインを繋ぐという取り組みにもリンクするものだからです。これからの医療は質の向上と共にいろいろな価値観を包含した多様性も求められる時代です。医療だけでなく介護も福祉も必要とする、複雑で拡大する医療ニーズを少しでも現場の最前線で働くスタッフの負担軽減になるためにも新しい医療提供のモデル構築が必要です。いわゆるイノベーションを起こす必要があります。そのためには我々からの情報発信が必要となります。適切な受診行動を取ることや普段からACPについて話し合ってもらっただけでも現場の負担軽減に繋がるのではないのでしょうか？そういうプラットフォームの役割の一つがキラメキテラス構想には包含されています。

2024年は医療介護の診療報酬同時改定だけでなく、医師の働き方改革も始まります。時短の中でどのように生産性向上を図っていくのか、ヒントは我々の意識改革にあるように思います。従来踏襲でない新しい働き方、そのためには仕事の棚卸しをしてムダを無くすことや、新しいスキルを手に入れるための学び直しも必要になるかもしれません。職員皆さんの潜在能力を大いに発揮してもらいたいと思います。

最後に2023年は創業85周年の節目の年でした。

引き続き90年、100年と持続可能な経営を職員全員で目指していきたいと思えます。

院長
濱崎 秀一

新年あけましておめでとうございます。本年が皆さまにとって良い年でありますことをお祈り申し上げます。

2022年12月からの第8波が鎮静化した後に、新型コロナウイルス感染症は2023年5月8日より感染症第2類から第5類へ変更されました。感染陽性者の隔離などの法的措置がはずされ、季節型インフルエンザと同様の扱いとなりました。重症化率も減少し、治療薬も身近になりましたが、重点医療機関以外の市中医療機関で広く受け入れるようになったわけではありませんでした。

一方で、マスク・手指消毒・換気の効果が理解され、感染症対策・感染制御の意識が高まったのはコロナ禍の陽性効果だと思われます。現在、小康状態になっていますが、今後もコロナウイルス変異株や新興感染症への警戒は必要だと思います。新興感染症を想定した業務継続計画(BCP)の策定の必要性も痛感します。

当院での2023年の最大のトピックスは6月に病院機能評価の新規受審を行ったことです。全職員一丸となって半年以上前から準備を進めてきましたが、改善要望事項はなく見事認定に至りました。コロナ禍の危機管理対策と同様に当院職員の団結力とポテンシャルの高さを再認識した次第です。病院機能評価受審のハードルを乗り越えたことで、病院運営にとっては大変心強い追い風となる急性期充実体制加算の取得が実現しました。ただし、加算業務が現場に過負荷にならないよう業務の見直しと効率化も同時に進めていかなければならないと考えています。

2024年4月より開始される医師の働き方改革についても、少子高齢化にむけて医療提供体制を構築するために必要不可欠な施策であると認識して医療従事者の働き方・休み方の改善と労働環境整備について全職種で積極的に取り組んでいます。しかしながら地域医療の維持は大丈夫なのかという疑問は残ります。長時間労働解消のために医師を増やすことは確実な解決策ですが、現実的ではありません。まずは業務のIT化・効率化・タスクシェアでの対応を早急に実現化することが肝要かと思われます。

2024年は診療報酬改定の年にあたります。とりわけ医療・介護・障害福祉のトリプル改訂の年であり、今回は6年に1回の巡り合わせとなります。『治し・支える医療』がテーマとなるようですが、急性期から生活期まで俯瞰的に見据えて地域医療を考える必要があります。

いずれにせよ、2024年は節目の年になりそうです。当院も地域医療構想の中でのような役割を担うか、また地域社会にどのように貢献できるかを考えながら周知な準備を始めています。

患者さんにとっても職員にとっても満足度の高い医療機関になれるようチーム医療を心がけながら前向きに進む一年でありたいと思います。皆様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



チームで信頼を築き、
スキルアップで
優れた医療の提供

診療支援部門

- 部門長 小倉 芳人(診療部長)
 - 副部門長 齋藤 兼一(臨床工学課顧問)
- 薬剤課、中央放射線課、中央臨床検査課、
リハビリテーション課、栄養管理課、臨床工学課、
病理課、歯科口腔外科、診療補助課

患者支援部門

- 部門長 今給黎 尚幸(副理事長)
 - 副部門長 原口 一博(患者サポートセンター長)
- 患者サポートセンター、病床管理課



入院前より、
安心・安全な
医療の提供のために
サポートさせていただきます



傾聴・対話・支援により
信頼関係と
チームパフォーマンスの
向上を目指す

医療安全管理部門

- 部門長 岩川 純(副院長)
 - 副部門長 千田 清美(医療安全管理課課長)
- 医療安全管理課、感染管理課、褥瘡管理課



安心・安全な
質の高い看護を
提供します

看護部門

- 部門長 近藤 ひとみ(看護部長)
- 副部門長 藤山 みどり、河原 尚美、上山 真紀、
山下 真理恵(看護副部長)



地域の方々との
connect(つながり)を
広げる

事務部門

- 部門長 御供田 貴之(事務長)
 - 副部門長 末吉 保則(事務次長)
- 人事総務経理課、医事課、診療情報管理課

NEWS

医療・福祉・地域の方々との親睦を深める “キラメキテラス地域連携の会”開催



2023年11月21日 SHIROYAMA HOTEL Kagoshima

当院は、2021年1月に高麗町に移転し、2023年5月に創業85年を迎えました。また、2023年5月に多世代にわたってにぎわう健“幸”のまちづくりをテーマに都市機能集約型施設『キラメキテラス』がグランドオープンしました。当院の入退院支援センターもキラメキ南国ビル内にオープンし入院前からの支援の充実に努めています。

この機会に日頃お世話になっています、医療・福祉・地域の方々とのさらなる親睦を深め、連携を行うために玉昌会、南国殖産、昭和会合同で『キラメキテラス地域連携の会～ミライヲテラス～』を開催しました。

医師97名 コメディカル52名 地域の方々18名計167名にお集まりいただきました。懇談会では来賓の皆さまに、日頃の感謝をお伝えすることができました。今回の会を機に、より円滑な連携がとれる、お互いの顔の見えるよい関係づくりの場になったのではないかと思います。これからも地域の患者さんによりよい医療を提供するために、地域の医療機関のみならずとの関係を密なものにしていきたいと考えております。今後とも引き続きよろしくお願ひ致します。

キラメキテラス地域連携の会
いまきいれ総合病院 実行委員一同



南国殖産株式会社
代表取締役会長 永山 在紀
(代読)
都市開発課課長代理 川崎 誠



公益社団法人昭和会
理事長 今給黎 和幸



医療法人玉昌会
理事長 高田 昌実



地域社会に貢献

公益社団法人昭和会の理念のひとつは「地域貢献」です。地域に根ざしたまちづくりの一環として、いまきいれ総合病院といまきいれ子ども発達支援センターまある(以下、まある)では、キラメキテラスヘルスケアホスピタル、荒田校区コミュニティ協議会と合同で健康教室、キラメキ健幸ひろばを開催いたしました。

荒田地区コミュニティ健康教室

○開催日…令和5年12月6日 ○場所…荒田校区公民館2階 ○参加人数…18人



荒田1丁目、2丁目、高麗町地区を中心とした荒田校区コミュニティ協議会の健康福祉部会は、年に4回健康教室を開催しています。今回、いまきいれ総合病院とキラメキテラスヘルスケアホスピタル合同のヒューマンライフライン協議会と、荒田校区コミュニティ健康福祉部会の主催で、健康教室を開催しました。今回は、緩和ケア内科部長 小玉医師による講演「より良い睡眠と、不眠症のはなし」を行い、地域住民40代～80代の18人が参加しました。

講演後のアンケートでは、睡眠の大事さが良くわかった、生活に活かしていきたい、小玉先生の話し方が面白かった、専門的な講義を初めて

聞き大変なためになった、など感想をいただきました。次回の健康教室は、令和6年2月に開催予定です。



キラメキ子育てひろば

○開催日…令和5年11月11日
○場所…A-COOPキラメキテラス店(イトインスペース)
○参加人数…親子8組20人(子ども11人、大人9人)



地域で安心して子育てができ、健やかに生活ができる街づくりをテーマとした「キラメキ健幸ひろば」。午前の部では、キラメキテラスヘルスケアホスピタルが主催し、シニア世代を対象とした講座「フレイルってなあに？」を開催しました。午後の部では、一般の子育て世代を対象に、「キラメキ子育てひろば」をまあるが開催し、8組の親子20人が参加しました。

「キラメキ子育てひろば」では、まある所属の保育士、看護師による絵本の読み聞かせや歌遊びなどを行い、子どもだけでなく親子みんなで楽しんでもらいました。また、バルーンアートにも子どもたちは釘付けになっていました。

開催後のアンケートでは、すべての参加者から楽しかったと回答をいただきました。今後は子育て講座や相談会へ気軽に参加できるように、さらに工夫を凝らしたいと思います。



子育てひろば・相談会
「キラメキ子育てひろば」
(参加者20人)



地域公開講座
「フレイルってなあに？」
(参加者17人)

黎和塾2023 ～ムーンショット2024～

経営方針(戦略)の共有、また公益社団法人の今後のベクトルを合わせるため、管理職を中心としたトップからの発信を目的として昨年からはじめた「黎和塾」。今年は12月18日に開催いたしました。

公益社団法人昭和会理事長 今給黎和幸は12月までの振り返りと2024年度の分析と取り組み、2024年度のスローガン「3つのR」の発表を、いまきいれ総合病院院長 濱崎秀一、上町いまきいれ病院 院長 丸山芳一はそれぞれの病院の振り返りと次年度の目標などを発表しました。

2024年度スローガン

3R
3つのR
Redesign (再設計)
Reduction (削減)
Reskilling (学び直し)



第3回院内発表会

毎年テーマを設け、職員が発表を行う院内発表。今回のテーマは2023年度のスローガンでもある「アフターコロナとレジリエンス」でした。

テーマに沿ったもの、部署の取り組みなど、口頭発表が8演題、ポスター発表が22演題ありました。

口頭発表
8演題

- 民間病院におけるロボット支援下手術の導入と現状
- コロナ禍で学んだ回復期リハビリの在り方
- コロナ禍中での第三者評価と継続的な業務の室改善
- 術中麻酔管理領域終了者における活動の現状と課題
- PICCの現状調査
- お任せください!多職種協働
- コロナで大改革!!手指衛生のビフォー・アフター



口頭発表者によるシンポジウム

ポスターを院内に展示

特定行為研修修了式

基本理念に教育を謳っており、人材育成にも力を入れています。当院では2021年10月から特定行為研修を行っています。

今回、動脈血液ガス分析関連研修を行った看護師4名の修了式が2023年12月22日に行われました。

特定行為看護師には、患者さんの状態を見極め、必要な医療サービスを適切なタイミングで届けるなど、速やかに対応する役割が期待されています。また、タスクシフト・タスクシェアの観点からも重要視されています。



日本医療機能評価機構認定病院に認定されました



写真: 病院機能評価ワーキンググループ

「救急」「がん」
「周産期」を柱として、
急性期医療で地域を支えます。

昭利会理念

「協力・貢献・向上・教育」

1. 全職員の協力体制
2. 地域社会への貢献
3. 自己研鑽と向上心
4. 人材育成と教育

一般病院2 機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0
交付日: 2023年11月10日
認定第JC2465号



公益社団法人昭利会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL

いまきいれ総合病院

〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号
TEL: 099-252-1090 FAX: 099-203-9119
<https://imakiire.jp/>



当日入院の
ご依頼(緊急)

医療機関専用緊急ダイヤル 救急患者のご紹介(24時間対応)

TEL: 099-203-9115

医療連携全般の
お問い合わせ

地域医療連携センター

TEL: 099-203-9110 FAX: 099-203-9101 月～金曜日 8:30～17:00

翌日以降の
診療予約

外来予約センター 診療予約・予約変更

TEL: 099-203-9100 FAX: 099-203-9101 月～金曜日 9:00～17:00

画像検査の
ご予約

画像予約センター

TEL: 099-203-9102 FAX: 099-203-9144 月～金曜日 9:00～12:30 / 13:30～17:00



関連施設 上町いまきいれ病院

〒892-0854 鹿児島市長田町5番24号
TEL: 099-222-1800 FAX: 099-226-3366
<https://imakiire.jp/kanmachi/>



関連施設 まるる

いまきいれ子ども発達支援センター
〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目15-3
TEL: 099-202-0325 FAX: 099-202-0326

いまきいれ総合病院の
公式SNSもチェック!

